

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



早めの暑熱対策をしましょう！

家畜の秋以降の生産性には、「暑い夏をどのように乗り切るか」が大きく影響します。採食量や受胎率の低下など家畜の生産性低下を防止するために、本格的に暑くなる前から暑熱対策を始めることが重要です。家畜が健康で快適に過ごせる環境をつくり、生産性の低下を防ぎましょう。

【畜舎温度を下げる】

- 畜舎外の対策
 - ・グリーンカーテンや遮光ネットの設置
 - ・壁への断熱材の設置
 - ・屋根への遮熱材（石灰乳等）の塗布
 - ・屋根へのスプリンクラーの設置
- 畜舎内の対策
 - ・換気扇などによる送風
 - ・家畜への直接送風や散水

【家畜のストレスを低減する】

- 飼養管理面の対策
 - ・密飼い防止
 - ・毛刈りの実施（牛）
 - ・新鮮で清潔な水を十分に飲めるようにしておく
 - ・飼料は涼しい時間に給与
 - ・良質で消化率の高い飼料を給与
 - ・必要に応じ、ビタミンやミネラルを補給



- ① グリーンカーテンの設置
- ② 屋根への石灰乳の塗布
- ③ 換気扇による送風

対策を組み合わせると効果的です。
早めの措置で夏を乗り切りましょう！

夏場の死亡牛BSE検査とレンダリング処理について

夏場は暑熱ストレスによる家畜の死亡頭数が増加するとともに、気温が高くなると、腐敗が短時間で進行し、以下に示したような問題が発生することが想定されます。腐敗の進行が著しく、化製処理が困難になった死亡牛は、熊本蛋白ミール公社から腐敗牛と認定され、月齢に関係なく「腐敗牛処理料35,500円」が徴収されることとなります。

〈腐敗牛により発生する問題〉

- BSE検査不能牛の発生
- 搬入事のクレーン懸垂不能による作業負担の増大
- 悪臭による環境問題の発生

熊本蛋白ミール公社及びBSE検査所では、夏季の死亡牛の腐敗防止対策として「土曜日の特別業務」を実施しています。飼養する牛が死亡したときは、熊本蛋白ミール公社への迅速な搬入及び搬入時間の事前連絡をしましょう。また、時間厳守でお願いします。

➤ 夏場の対応期間

令和3年(2021年)7月1日～9月30日

➤ 期間中の「土曜日」業務

午前 8:30～11:30 (通常どおり)

午後 1:00～3:00 (特別業務)

※期間中の7月23日(金)(スポーツの日)は業務を実施します。

※期間中の日曜日、7月22日(海の日)、8月9日(振替休日)、8月14日(盆休み)、9月20日(敬老の日)、9月23日(秋分の日)は休業です。

問い合わせ先：(株)熊本蛋白ミール公社 TEL 0968-26-3766

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N8	ロシア	野鳥	令和3年5月29日
	H5N5	台湾(2件)	家禽	令和3年6月6日
	H5N8	中国	野鳥	令和3年6月11日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	豚・野生イノシシ	令和3年6月8日～25日
		マレーシア(2件)	豚	令和3年6月2日、16日
		ロシア	豚	令和3年6月12日

令和3年(2021年)6月30日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

